

平成 17 年度第 4 回北海道ブロック協議会
第 4 回北海道代協常任理事会

議 事 録

平成 18 年 1 月 13 日(金)pm0:30~5:00

於：北海道厚生年金会館 玉葉の間

出席者

本部常任委員	高梨重勝	函 館	常任理事	大西 勝	札 幌	企画環境	林 昌宏	旭 川
会 長	向出明彦	札 幌	常任理事	工藤龍蔵	室 蘭	組 織	多和康司	千 歳
副会長	長谷部幹夫	旭 川	常任理事	森 優	旭 川	地球環境	梅基伸男	札 幌
副会長	山本 宏	釧 路	常任理事	鈴木雅裕	小 樽	広 報	坂本和正	札 幌
副会長	阿部 實	札 幌	常任理事	富田明久	苫小牧	年金基金	見上峰夫	札 幌
副会長	石岡憲義	函 館	常任理事	間 光夫	千 歳	監 事	松野裕一	釧 路
副会長	長谷川勇	帯 広	常任理事	松浦則雄	函 館	監 事	羽山和広	帯 広
専務理事	町野泰明	札 幌	常任理事	羽田武史	帯 広	事務局長	未原正二	札 幌
国民年金基金 常務理事	川添茂香	オブザ ーバー	支部事業財 務委員長	山崎善仁	札 幌	事務局員	藤田和代	

司 会 専務理事 町野泰明

1、開会の辞(大西 勝)

2、会長挨拶(向出明彦)

- ・ 昨年は異常な出来事の多かった年であり、リスクマネジメントに携わるわれわれとしては、その役割も多かった。
- ・ 組織再編の議論を期待したい。

3、日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)

- ・ 保険会社の販売網の再編によりわれわれ代理店協会も新組織を構築せざるを得なくなった。新組織においては会員の増強により存在をアピールしていかななくてはならず、さらに代理店の資質を高めていかなければならない。

4、倫理綱領の朗読(松浦則雄)

5、議 題

議長には石岡憲義副会長(函館)が選任され承認された。

、報告事項

(1) 支部活動、及び予定報告(活動報告については会議資料を参照)

以下補足

- ・各支部のタオルボランティアについての活動状況が報告された。
- ・支部セミナーにおいて「裁判員制度」に関する、視察研修をした。(旭川)
- ・定例会において、「各社の代理店施策」の情報交換会を開いた。(小樽)
- ・銀行で扱う「火災保険料」比較研修を開いた。(苫小牧)
- ・支部セミナーにおいて「我が家の耐震構造」をテーマに掲げた。(千歳)
- ・支部の新年会において「各保険会社のPRスピーチ」をアトラクションとして予定している支部がある

(2) 日本代協常任理事会(12/8)報告

- ・認定保険代理士制度を更新の研修を通して充実を図る。
- ・公有物件引き受けの陳情がある。収益事業の検討。
- ・代理店の資質の向上
- ・「銀行窓販」「監視ハンドブック」の作成、モニタリング
- ・金融庁との意見交換
- ・「収益事業サポート委員会」の設置
- ・「新生代理店協会」への移行
- ・代理店手数料の最高ポイント引き上げ運動

(3) 日本代協委員会報告

組織委員会(多和康司)

- ・11/4 に本部第3回組織委員会が開かれた。北海道代協の会員推移は会議資料を参照
- ・日本代協では12,300会員を目標としているが、年度末までの達成は厳しいとの見方。各支部の組織率を上げてほしい。
- ・地震保険加入促進キャンペーンを実施しており、各支部のモニタリングをお願いしている。
- ・各支部の新会員オリエンテーションの報告があった。
- ・支部事務局員の本部研修の報告があった。
- ・メール化100パーセントの推進
- ・次回第5回組織委員会は2/2に開かれる。

国民年金基金推進委員会(見上峰夫)

- ・全国損害保険代理業国民年金基金 常務理事 川添茂香氏が基金加入会員促進

の要請をした。

地球環境対策室(梅基伸男)

- ・「チーム・マイナス6%」(地球温暖化防止「国民運動」)へ参加のお勧め(資料参照)

企画環境委員会(林 昌宏)

- ・「銀行窓販、監視ハンドブック」の作成、来月の理事会後に会員へ配布されると思う。

、審議事項

(1) 会員増強キャンペーンの件

支部名	年度末目標	1/13現在	残り	コメント
札幌	132	121	11	キャンペーン要員を組織し厳しいが目標達成に努力する
室蘭	26	23	3	前向きに努力したい。
旭川	83	78	5	小委員会を作り賠償の加入をツールに、皆で頑張る
小樽	22	19	3	廃業が多いが研修生に声かけをする。
苫小牧	35	32	3	合併もあり厳しいが目標を達成したい。
千歳	22	20	2	退会者に働きかけ何とかしたい。
函館	62	59	3	役員を中心に勧誘する。
釧路	69	67	2	各社に見直しを要請し、会員がフォローする。
帯広	55	49	6	会員が未加入代理店をリストアップし勧誘する。
合計	506	468	38	

- ・ 1会員が1未加入代理店の勧誘に努力してほしい。
- ・ 年度末までは入会金の3,000円でよいのではないか
- ・ 賠償を前面にアピールし今日からの取り組みをお願いしたい。
- ・ 勧誘の新しいパンフレットがあるので、まだもらっていない支部は事務局に言ってほしい。

(2) 北海道代協組織化の件

組織準備委員会 委員の選出

法人化について

- ・ 「中間法人」が認められなくなったので今後の組織作りを議論してほしい。
- ・ 新組織の展開も議論しなくてはならない。
- ・ 「公益非営利法人」は13年の日本代協で決まったこと。
- ・ 法人化特別委員会を北海道代協に作る、各支部長が委員となって議論をしてほ

しい。費用については各支部の負担とする。

会費の均一化について

- ・今後事務局費用の増加が予想され、20年度の法人化に向けて、今から会費の統一にむけた議論をしてほしい。
- ・統一の必要性については、単協の意識を持ってもらいたい。
- ・法人の使用人を準会員として、それなりの会費を納めてもらったかどうか
- ・経費節減の中、通信、伝達手段を考えたらどうか
- ・今後においてもこの議論を継続していきたい。

(3) 収益事業について(新会社設立の件)

- ・北海道代協運営費に関して法人の性質上収益事業ができず、支援する会社を作ってはどうか。
- ・今後の議論とする。

(4) 公開講座開催の件

- ・北海道代協主催の「市民公開講座」今年度の開催は見送ることとし、了承された。

(5) その他

- ・政連の会費が未納になっている支部が3誌部あるので、支部長は責任を持って完納してほしい。
- ・「法制委員会」よりネットワークを構築し、企画、集約のルートを作りたい。

6、閉会の辞(長谷川 勇)